

Ⅲ. 学校選択制の検証について

1. 学校選択制の検証について

(1) 検証の目的

学校選択制は平成17年度に制度が導入され、導入後は原則として3年毎に制度検証を行うこととされており、制度導入後12年目の今年度については、4回目の検証になります。

検証にあたっては、毎年度学校選択制により入学した児童生徒の保護者に対して選択した動機などアンケート調査を実施しているほか、今年度は選択制を利用せずに指定校に入学した児童生徒の保護者や、今後小学校に入学予定の子を持つ保護者などを対象として広くアンケート調査を行いました。

これにより、学校選択制の課題や問題点を整理し、学校選択制をよりよい方向に進めていくため検証作業を実施します。

(2) 検証の方法

①平成26～28年度学校選択制により入学した児童生徒の保護者アンケート

学校選択制についての考えや、入学後の学校生活などについてアンケートを行いました。

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
調査対象者	123人	120人	114人
	小学校：66人 中学校：57人	小学校：51人 中学校：69人	小学校：58人 中学校：56人
調査方法	配布：郵送、回収：郵送		
調査期間	平成26年10月20日～11月7日	平成27年9月10日～10月16日	平成28年7月22日～9月21日
回答者	69名	67人	61人
	小学校 42人 中学校 27人	小学校 29人 中学校 38人	小学校 28人 中学校 33人
回答率	56.1%	55.8%	53.5%
	小学校 63.6% 中学校 47.4%	小学校 56.9% 中学校 55.1%	小学校 43.1% 中学校 58.9%

②平成23年度以降に選択制を利用せず入学した児童生徒の保護者に対するアンケート

指定校に入学した理由や選択制の隣接校方式、選択できる学年などについての調査を行いました。

調査対象者	小学1年生～中学3年生で入学時に選択制を利用しなかった児童生徒 8,253人のうち1,000人
抽出方法	上記の中から、学年別、男女別、学校区別に無作為抽出
調査方法	配布：郵送、回収：郵送
調査期間	平成28年7月22日～9月21日
回答者	480人（小学校312人、中学校168人）
回答率	48.0%（小学校48.8%、中学校46.5%）

③今後小学校に入学予定の子どもの保護者に対するアンケート

学校選択制の認知状況や選択制の隣接校方式、選択できる学年

調査対象者	0歳～6歳の未就学児4,730人のうち 500人
抽出方法	上記の中から、学年別、男女別、学校区別に無作為抽出
調査方法	配布：郵送、回収：郵送
調査期間	平成28年7月22日～9月21日
回答者	252人
回答率	50.4%

などについての調査を行いました。

④学校選択制に関する学校アンケート

市内小中学校長に対して、選択制のメリットやデメリット、隣接校方式、選択できる学年、制度導入による変化などについての調査を行いました。

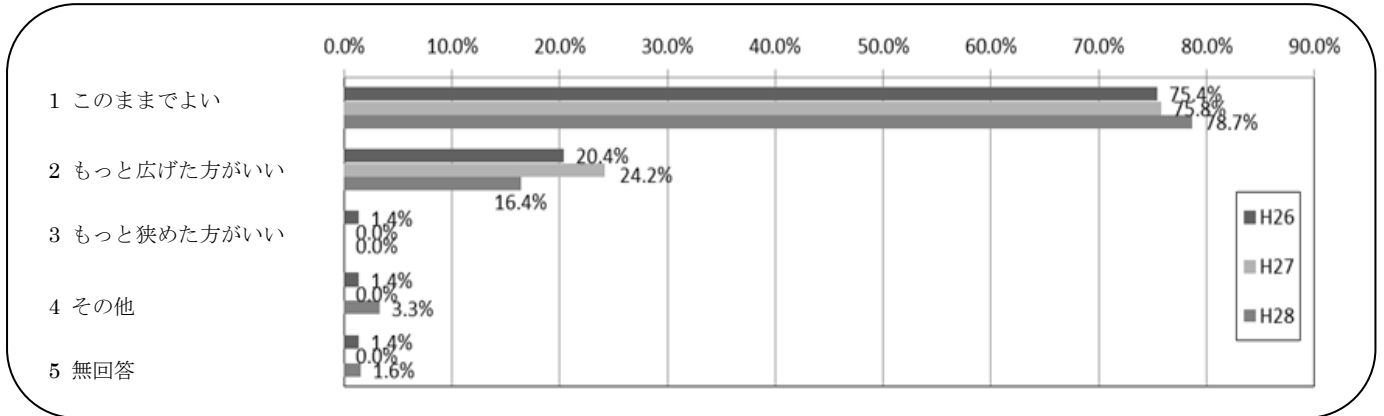
調査対象者	市内全小中学校長
調査方法	各学校に配布、回収
調査期間	平成28年7月22日～9月21日
回答者	26校
回答率	100.0%

2. アンケート調査の結果

(1) 平成26～28年度学校選択制により入学した児童生徒の保護者アンケート

〔資料1～28頁〕

問2. 現在の学校選択制（隣接校方式）についてどう思いますか？



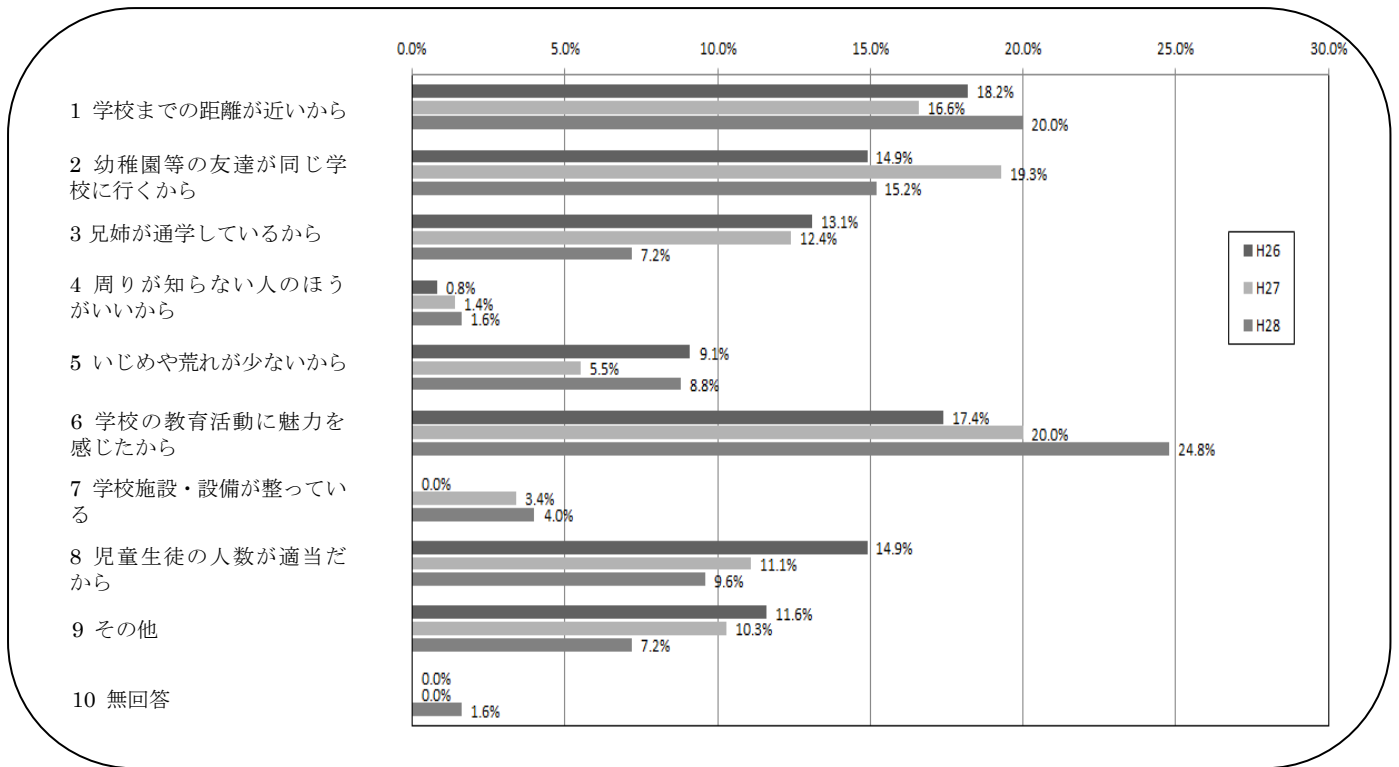
◎「このまま（隣接校方式）でよい」と回答した方が小中ともに最も多く、3か年平均で小学校が約81%（前回82%）、中学校が約71%（前回61%）でした。

◎「もっと広げた（全域制）ほうがよい」と回答した方は、3か年平均で小学校が約13%（前回12%）、中学校が約28%（前回30%）でした。

◎「もっと狭めたほうがよい」と回答した方は、ほとんどいませんでした。

「このまま（隣接校方式）でよい」と回答した方全体の3か年平均は76%となり、前回調査時（約73%）とほぼ同じ割合でした。

問3. 学校をどのような理由で選びましたか？（複数回答可）



◎3か年平均では、学習内容やクラブ活動などの「教育活動に魅力を感じたから」が最も多くなっています（約21％）。

◎次いで、「学校までの距離が近いから」と「友達が同じ学校に行くから」が多くなっています。

前回調査（平成25年）に引き続き、「教育活動に魅力を感じたから」と回答した方のうち、中学校ではクラブ活動を理由に選んでいる割合が高くなっています。

小学校では、「幼稚園等の友達と同じ学校に行くから」と回答した方の割合が最も高くなっています（3か年で平均約22％）。

問4. 入学した学校で取り組んでいる、魅力ある学校づくりや特色づくりについて知っているか？

◎入学前から「知っていた」と回答した方は、3か年平均で約39％（前回43％）ですが、現在「知っている」と回答した方は、3か年平均で約70％（前回71％）でした。

問5. 入学した学校は、最終的に誰が決めましたか？

◎小学校では、「児童生徒と保護者で相談」と回答した方が最も多く、3か年平均で約48%であり、中学校では、「本人」が50%でした。

◎小学校では次いで「保護者」が約40%であり、中学校では次いで「児童生徒と保護者で相談」が約49%でした。

問6. 学校を選択する際に、悩んだ点はありましたか？

◎小中ともに「なかった」と回答した方が多く、3か年平均で小学校が約59%、中学校が約63%でした。

問7. 学校を選択する上で、学校情報として参考にしたものは何ですか？

◎「友人・知人等からの話」が小中ともに最も多く、3か年平均で約31%でした。

◎次いで「学校一斉公開日の学校見学」が約22%、「学校案内(冊子)」が約15%でした。

問8. 学校への主な通学手段は何ですか？

◎「徒歩」が小中ともに最も多く、3か年平均で小学校が約71%、中学校が約46%でした。

◎小学校では次いで「保護者の送迎」が約16%、中学校では次いで「自転車」が約29%でした。

問9. 学校への登下校の際、不便を感じることはありますか？

◎「ない」が小中ともに多く、3か年平均で小学校が約67%、中学校が約58%でした。

問10. 学校生活の面で困っていることはありますか？

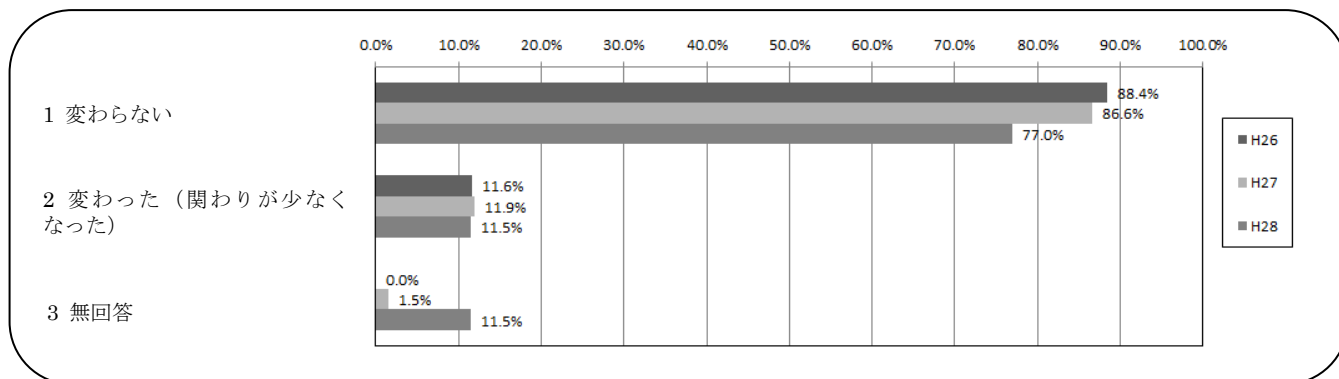
◎「ない」が小中ともに多く、3か年平均で小学校が約90%、中学校が約80%でした。

問 1 1. 保護者の方は、入学した学校のPTA事業活動をしていますか。

◎小学校では「活動している」が多く、3か年平均で約73%でした。

◎中学校では「活動している」は、3か年平均で約48%でした。

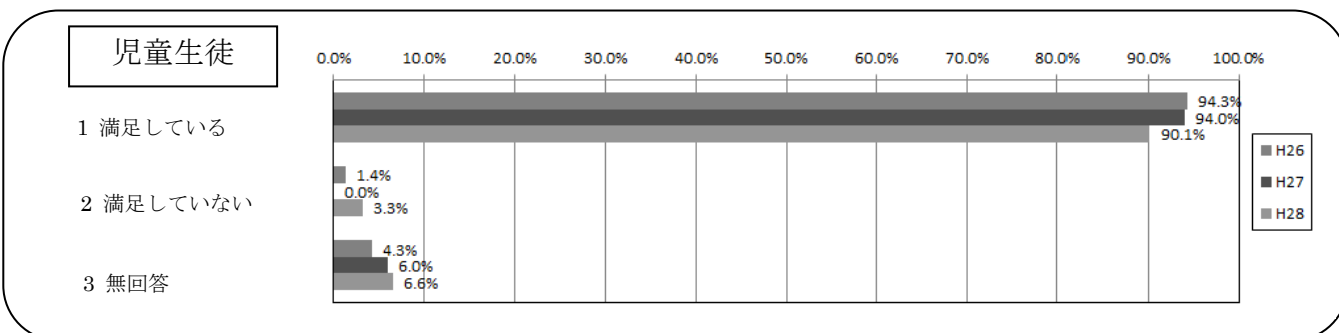
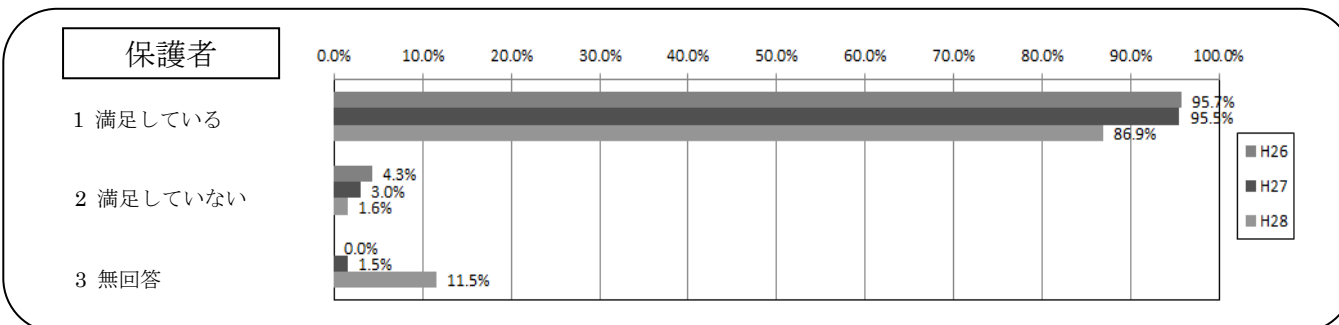
問 1 2. 入学後、居住地での地域活動は変わりましたか？



◎「変わらない」と回答した方が小中ともに多く、特に小学校では3か年平均が約91%でした。

学校選択制では、地域とのつながりの希薄化が心配されますが、選択制で入学した児童生徒の保護者のほとんどが「変わらない」と感じていることが分かりました。

問 1 3. 学校を選択し、現在の学校に入学した結果、どのように感じていますか？



◎保護者、児童生徒ともに大多数の方が「満足している」と回答しています。

学校選択により入学した児童生徒と保護者は、学校選択したことに高い満足感を持っていることが分かりました。

(2) 平成23年度以降に選択制を利用せず入学した児童生徒の保護者に対するアンケート

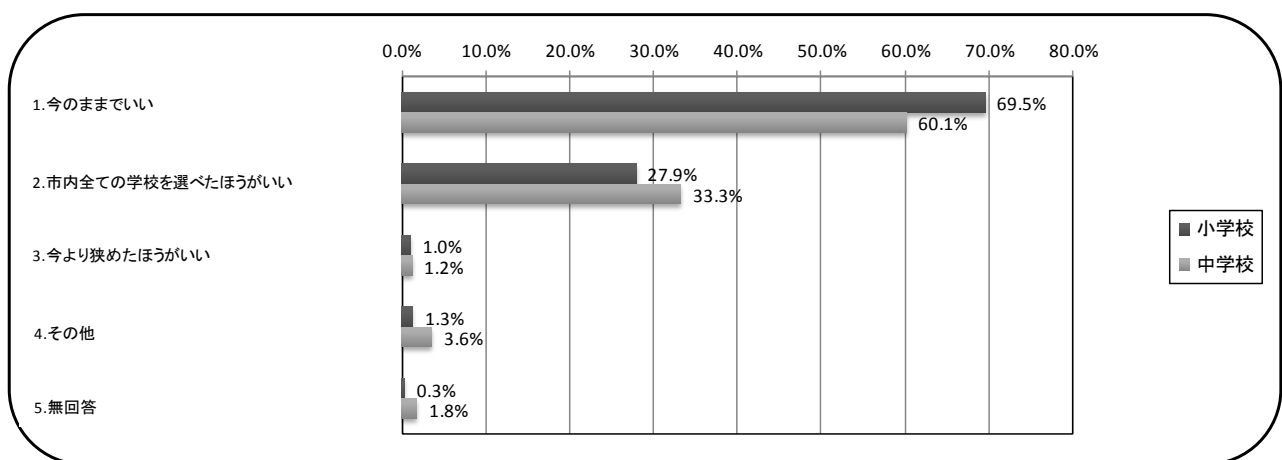
[資料29～45頁]

問4. 学校選択制を利用せず、現在の学校（指定校）に入学した理由は何ですか？

◎「指定校に行くのが、学校生活を送る上で良いと思ったから」が小中ともに最も多く、小学校で約41%、中学校で約43%でした。

◎次いで「校区で決まっているから」が多く、小学校で約32%、中学校で約30%でした。

問5. 選択できる学校の範囲として校区と隣接する地域の学校（隣接校方式）としていますが、この方式をどう思いますか？



◎「今のままでいい」と回答した方が小中ともに最も多く、小学校で約70%（前回67%）、中学校で約60%（前回68%）でした。

◎次いで「市内全ての学校を選べたほうがいい」と回答した方は、小学校で約28%（前回29%）、中学校で33%（前回28%）でした。

前回調査（平成25年）に引き続き、小中ともに「隣接校方式のままでいい」という意見が市内全域制を望む意見を上回りました。

問6. 問5で「今のままでいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎「実際に通学するうえで妥当な範囲だから」が小中ともに最も多く、小学校で約70%、中学校で76%でした。

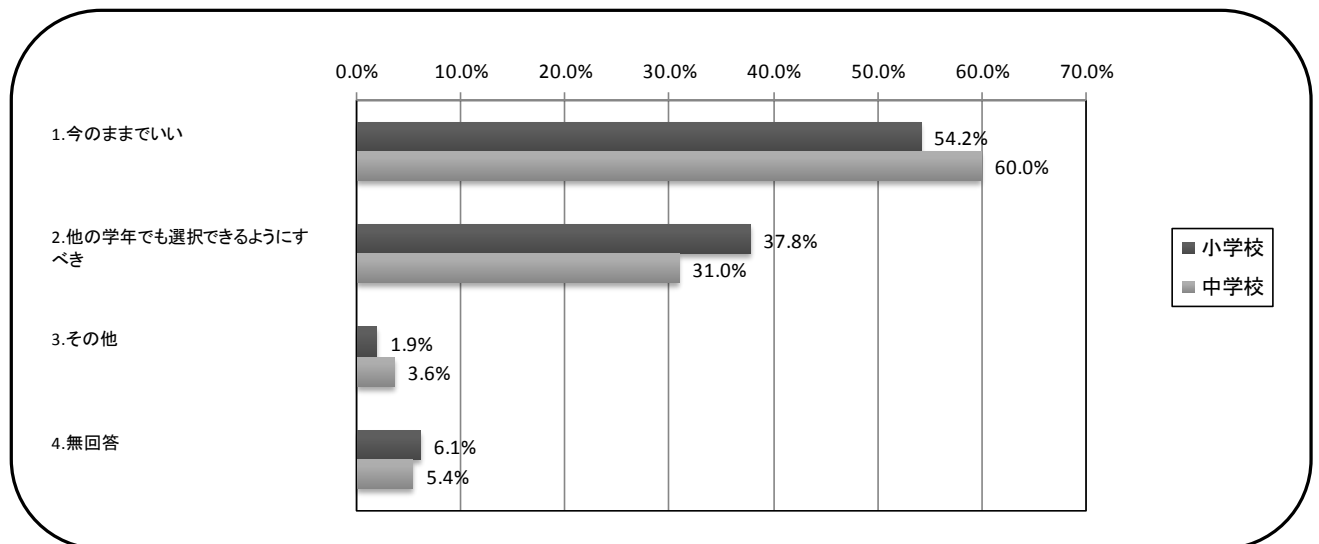
問7. 問5で「市内全ての学校を選べた方がいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎「選択肢が広がり、より自分の個性に合った学校へ行けるから」が小中ともに最も多く、小学校で約53%、中学校で約46%でした。

問8. 問5で「今より狭めた方がいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎回答した5人のうち、「通学距離が短い学校が選択できればいいから」が3人、「多くの学校を選べると、1校に絞ることが難しいから」と「成績やスポーツで片寄るから」が1人ずつでした。

問9. 現在、選択できる学年は、クラス編制等の学校運営の関係から、入学する新1年生のみとしています。どう思いますか？

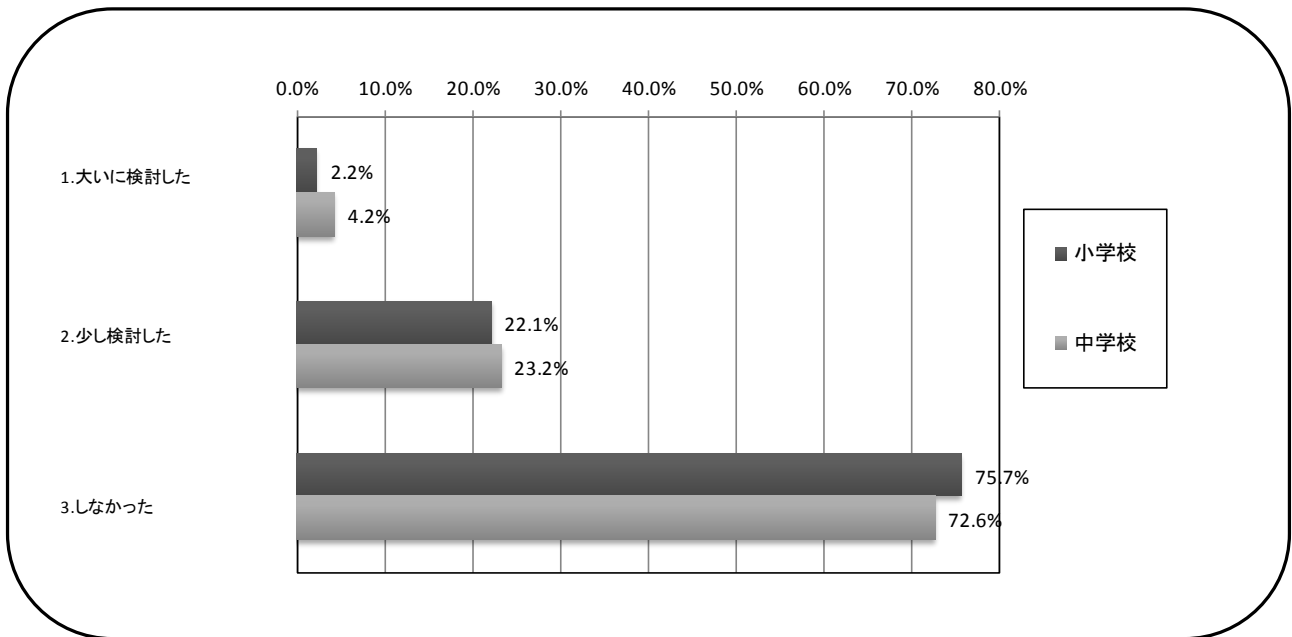


◎「今のままでいい」と回答した方が小中ともに最も多く、小学校で約54%（前回49%）、中学校で約60%（前回61%）でした。

◎次いで「他の学年でも選択できるようにすべき」と回答した方は、小学校で38%（前回43%）、中学校で31%（前回33%）でした。

前回調査（平成25年）に引き続き、「今のままでいい」という意見が「他の学年でも選択できるようにすべき」という意見を上回りました。

問 10. 入学前に、校区内外を問わず学校について検討してみたことがありますか？



◎「検討しなかった」と回答した方が小中ともに最も多く、小学校で約76%（前回約67%）、中学校で約73%（前回約73%）でした。

問 11. 問 10で「大いに検討した」、「少し検討した」と回答した方。

(1) 関心を持った学校は、どの学校ですか？

◎小中ともに、「校区の学校」よりも「校区外の学校」の学校に関心を持った方が多く、小学校では約63%、中学校では約70%でした。

(2) 具体的にどのようなことをしましたか？

◎小学校では、「学校のホームページを見た」が最も多く、約31%でした。

◎中学校では、「友人・知人などから話を聞いた」が最も多く、約38%でした。

問 12. 問 10で「検討しなかった」と回答した方。理由は何ですか？

◎「指定校への入学を決めていたから」が小中ともに最も多く、小学校は約79%、中学校は約83%でした。

問13. 学校選択する場合、必要な情報は何かと思いますか？

◎小中ともに「学校の見学」が最も多く、小学校では22%、中学校では約23%でした。

問14. 各小中学校では、「顔づくり事業」を始め、魅力づくり・特色づくりに取り組んでいますが、今通っている学校でどのような活動を行っているか知っていますか？

◎「よく知っている」「少し知っている」を合わせると、小学校で約39%、中学校で約33%でした。(前回 小学校約37%、中学校約40%)

◎「ほとんど知らない」「全く知らない」を合わせると、小学校で59%、中学校で約65%でした。(前回 小学校約62%、中学校約60%)

問15. 問14で「よく知っている」と「少し知っている」と回答した方。

(1) どのような手段でそのことを知りましたか？

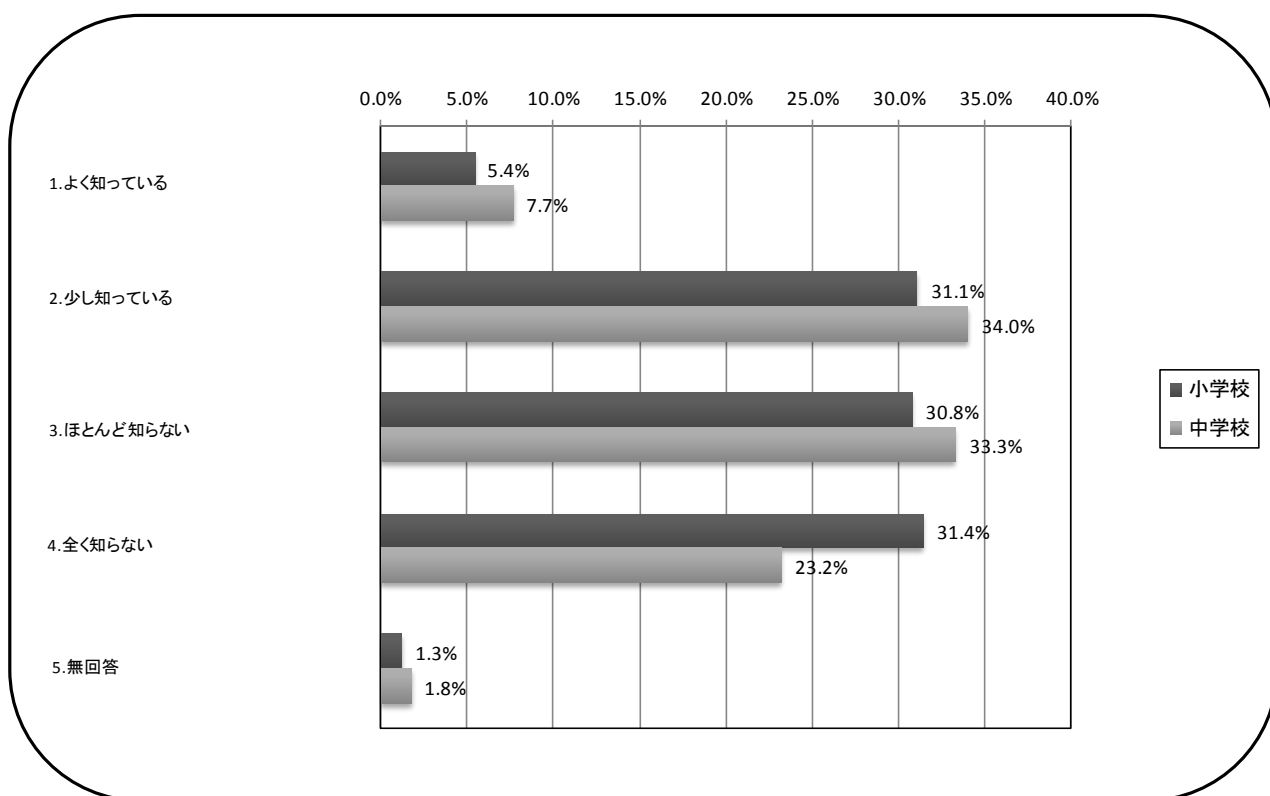
◎「学校通信」が小中ともに最も多く、小学校で約40%、中学校で約43%でした。

(2) 学校選択制により、学校の魅力づくり・特色づくり活動は以前より進んだと思いますか？

◎「大いに思う」と「少し思う」をあわせると、小学校で約41% (前回約27%)、中学校で約27% (前回約40%) でした。

◎一方で、「わからない」という方が中学校で約38% (前回約21%) に増えています。

問 1 6 . 学校選択制とは別に、やむを得ない相当な理由があれば校区外の学校へ通学できる制度（区域外通学制度）があることを知っていますか？



◎「よく知っている」「少し知っている」を合わせると、小学校で約 3 7 %、中学校で約 4 2 %でした。

◎「ほとんど知らない」「全く知らない」を合わせると、小学校で約 6 2 %、中学校で約 5 7 %でした。

区域外通学制度の認知度は、小中全体で 4 割程度ということが分かりました。

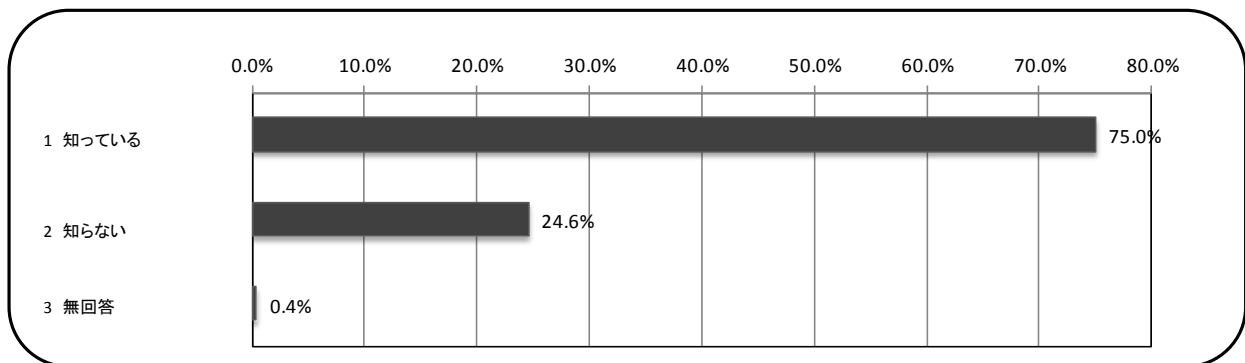
○学校選択制について、ご自身が思っていることを自由に記入してください。

◎小学校で 7 9 件、中学校で 3 4 件、合計で 1 1 3 件の意見が寄せられました。

(3) 今後小学校に入学予定の子どもの保護者に対するアンケート

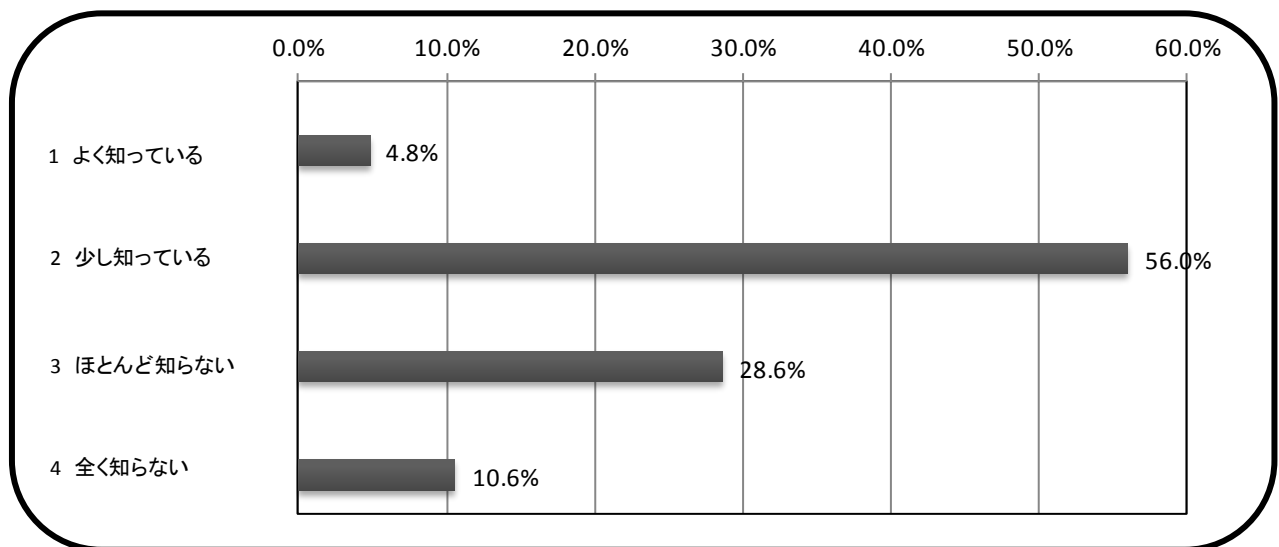
〔資料46～54頁〕

問4. 江別市で学校選択制を導入していることを知っていますか？



◎「知っている」と回答した方は75%でした。(前回調査時 約62%)

問5. 問4で「知っている」と回答した方で、学校選択制の制度の内容(選択できる学校の範囲や選択できる時期など)を知っていますか？



◎「よく知っている」と「少し知っている」を合わせると約61%でした(前回約39%)。

◎「ほとんど知らない」と「全く知らない」を合わせると約39%でした(前回約59%)。

前回調査(平成25年)に比べ、江別市で学校選択制を導入していること、また、制度の内容を知っている方は、増加傾向にあります。

問6. 問5で「知っている」と回答した方に伺います。

(1) 選択できる学年は、小学校中学校に入学する新1年生のみとしています。どう思いますか？

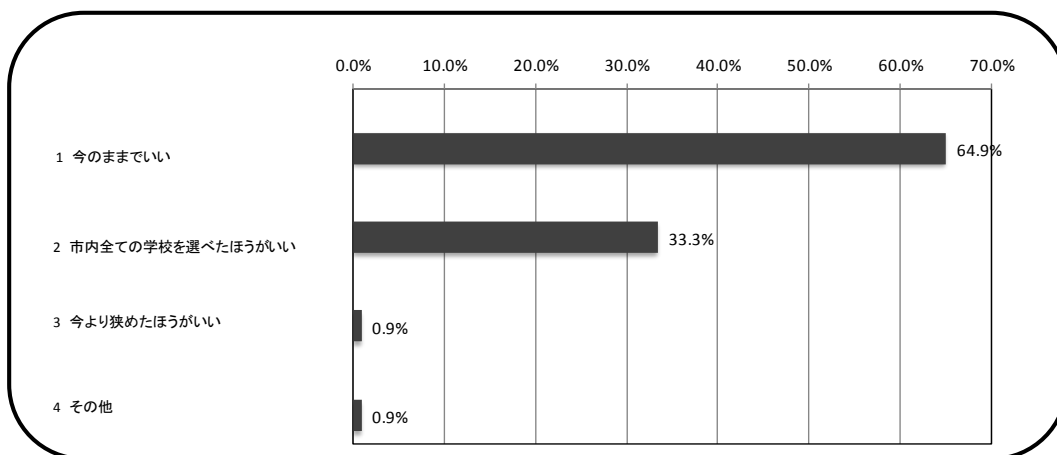


◎ 「今のままでいい」が最も多く、約54%（前回44%）でした。

◎ 「他の学年でも選択できるように」は、約42%（前回53%）でした。

前回調査（平成25年）と異なり、今回調査では、「今のままでいい」という意見が、「他の学年でも選択できるようにすべき」という意見を上回りました。

(2) 選択できる学校の範囲は、校区と隣接する地域の学校（隣接校方式）としています。どう思いますか？



◎ 「今のままでいい」が最も多くは、約65%（前回46%）でした。

◎ 「市内全ての学校を選べたほうが良い」は、約33%（前回50%）でした。

前回調査（平成25年）と異なり、今回調査では、「今のままでいい」という意見が、「市内全ての学校を選べたほうが良い」という意見を上回りました。

問7. 問6（2）で「今のままでいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎「実際に通学するうえで妥当な範囲だから」が最も多く、約69%でした。

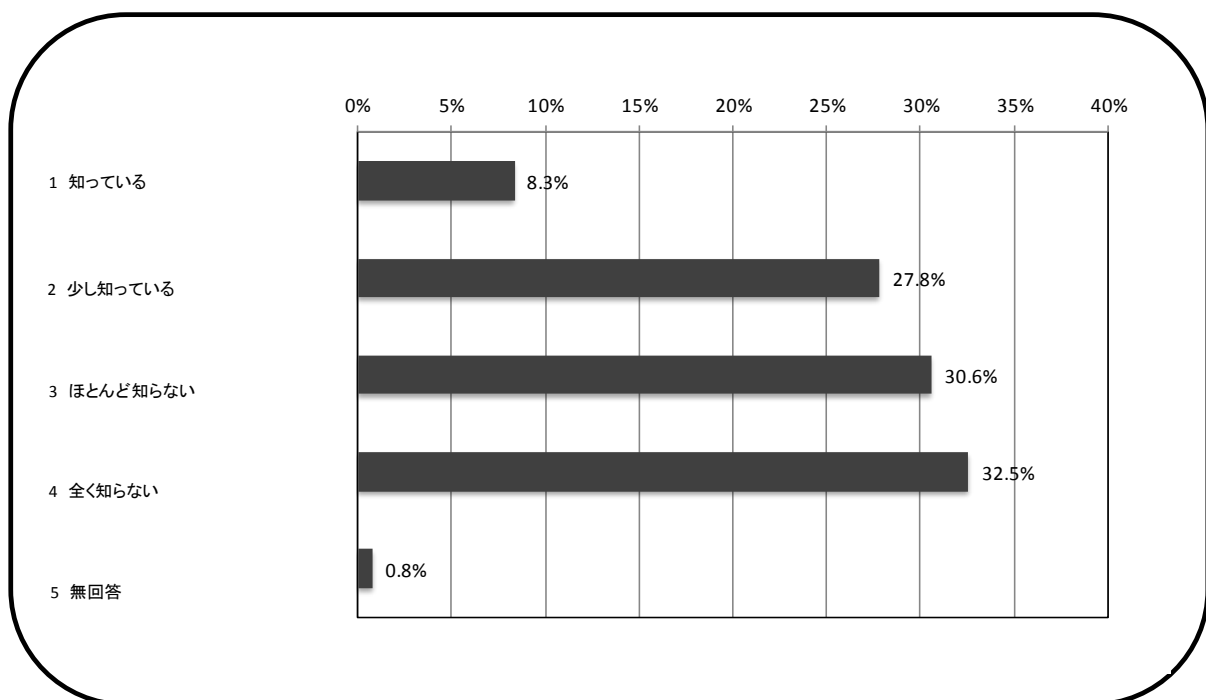
問8. 問6（2）で「市内全ての学校を選べた方がいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎「選択肢が広がり、より自分の個性にあった学校へ行けるから」が最も多く、54%でした。

問9. 問6（2）で「今より狭めた方がいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎回答した1人の理由は、「通学距離が短い学校が選択できればいいから」でした。

問10. 学校選択制とは別に、やむを得ない相当な理由があれば校区外の学校へ通学できる制度（区域外通学制度）があることを知っていますか？



◎「よく知っている」「少し知っている」を合わせると、約36%でした。

◎「ほとんど知らない」「全く知らない」を合わせると、約63%でした。

区域外通学制度を「知っている」と答えた方は4割程度でした（就学中の児童生徒の保護者と同程度）。

問 1 1. お子さんが小学校へ入学する際、学校選択制あるいは区域外通学制度を利用して他の学校へ入学する予定はありますか？

◎「指定校入学を予定」と答えた方が最も多く、64%でした。

○学校選択制について、ご自身が思っていることを自由に記入してください。

◎全体で58件の意見が寄せられました。

(4) 学校選択制に関する学校アンケート〔資料49～67頁〕

※回答方法は、全て自由記述形式（回答内容により項目を分類しています）。

問1. 学校現場における学校選択制のメリット、デメリットについてどうお考えですか？

(1) メリット

- | | |
|----------------------|-----|
| ①選択肢が広がる、魅力のある学校を選べる | 13件 |
| ②人間関係のトラブル解消 | 7件 |
| ③通学距離、安全面を考慮できる | 1件 |
| ④学校、保護者の変化 | 11件 |
| ⑤その他 | 8件 |

(2) デメリット

- | | |
|---------------|-----|
| ①通学上の問題 | 9件 |
| ②学校間格差の拡大 | 4件 |
| ③地域とのつながりの希薄化 | 9件 |
| ④学校運営上の問題 | 11件 |
| ⑤指導上の問題 | 12件 |
| ⑥その他 | 8件 |

問2. 選択できる学校の範囲を今の隣接校方式から、範囲を「広げた方が良い」という声の一部の保護者からありますが、そのことについてどのようにお考えですか？

◎全体で45件の意見が寄せられました。

◎範囲を広げることについて「賛成」、「どちらかと言えば賛成」の意見は、12件（約27%）でした。

◎範囲を広げることについて「反対」、「どちらかと言えば反対」の意見は、33件（約73%）でした。

教職員では、隣接校方式からさらに範囲を広げることについて、反対の意見が7割以上であることが分かりました。

問3. 現在は、選択できる学年は翌年度小学校あるいは中学校に入学する新1年生ですが、「他の学年でも選択したい」という児童生徒と保護者の意見もあります。このことについてご意見をお聞かせください。

◎全体で40件の意見が寄せられました。

◎選択できる学年をさらに広げることについて「賛成」、「どちらかと言えば賛成」の意見は、5件（約12.5%）でした。

◎選択できる学年をさらに広げることについて「反対」、「どちらかと言えば反対」の意見は、35件（約87.5%）でした。

教職員では、選択できる学年をさらに広げることについて、反対の意見がおよそ9割であるということが分かりました。

問4. 学校選択制により、「特色ある学校づくり」あるいは「地域一体型・学校の顔づくり事業」との関連で、これらを進めようという教職員の意識が高まったかどうか、ご意見をお聞かせ下さい。

◎全体で28件の意見が寄せられました。

◎教職員の意識が「高まった」、「どちらかというが高まった」の意見は、6件（約21%）でした。

◎教職員の意識が「高まってない」、「どちらかというが高まってない」の意見は、22件（約79%）でした。

「特色ある学校づくり」や「地域一体型・学校の顔づくり事業」を進める上で、学校選択制は、直接関係ないと認識している教職員が多いことが分かりました。

問5. 学校選択制により、保護者の学校運営に対する関心が高まったかどうかについて、感想、ご意見がありましたらお聞かせください。

◎全体で25件の意見が寄せられました。

◎保護者の学校運営に対する関心が「高まった」、「どちらかというが高まった」の意見は、13件（約52%）でした。

◎保護者の学校運営に対する関心が「高まっていない」、「分からない」の意見は、12件（約48%）でした。

学校選択制の導入により保護者の学校運営に対する関心が高まっていると感じている教職員の割合は、5割程度に増えています。（前回調査時は4割）

問6. 学校選択制により、どのような変化（教職員、児童生徒、保護者など）が見られたかご自由にお書き下さい。

◎全体で21件の意見が寄せられました。

問7. 学校のPRなど情報発信の部分で学校における課題あるいは市教委に何か要望がありましたら、お聞かせ下さい。

◎全体で12件の努力課題、要望が寄せられました。

◎学校側の努力課題は6件でした。

<主な課題>

- ・情報発信の重要性や地域との連携。

◎市教委への要望は6件でした。

<主な要望>

- ・施設状況（老朽化等）の学校間格差の是正。

など

問8. 今後の学校選択制のあり方について、何かご意見等があればお書き下さい。

◎全体で19件の意見が寄せられました。